

滴下浸透気化式加湿器

単独運転・室内直接加湿 / 天吊型

WM-VTD タイプ



WM-VTD6400



WM-VTD3200



ヒューミ付リモコン
WM-HRM101

**ヒューミディスタット内蔵型の
リモコンスイッチを新たにラインナップ!**

現地計装工事を省力化。

ヒューミディスタットの別途手配が不要に!

モデルチェンジのポイント

外部指令信号入力による

遠方発停と後押し優先機能を搭載

外部指令信号入力により加湿器の遠方発停が可能になりました。また、外部指令信号入力またはリモコンスイッチ操作による運転・停止の後押し優先機能を搭載しました。

外部信号出力機能を標準搭載

従来オプション仕様であった、「外部信号出力機能（運転および警報、無電圧接点信号）」を標準で装備しています。

現地配線工事を簡略化

リモコンスイッチの配線は従来の8心から2心へ改善。また複数台同時制御の際のヒューミディスタット渡り線は不要です。

水道管直接連結(第三者認証登録品)に対応

標準仕様で「水道管直接連結」に対応。第三者機関(JET: (一財)電気安全環境研究所) 認証登録品ですので、直結給水方式での加湿器検討をさらに簡便化しました。



第三者認証登録による水道管直接連結への対応 現地配線工事の簡略化（リモコンスイッチ配線を2心化） 現地施工性が向上いたしました。



WM-VTD3200



WM-VTD6400

滴下浸透気化式加湿器 WM-VTD タイプは、本体を天吊または壁面ブラケットなどで単独に取り付け、内蔵ファンにより室内に直接加湿を行う滴下浸透気化式加湿器です。単独運転の気化式加湿器としては加湿能力の大きい2型番を用意しており、産業空調から一般空調までさまざまな用途にご使用いただけます。

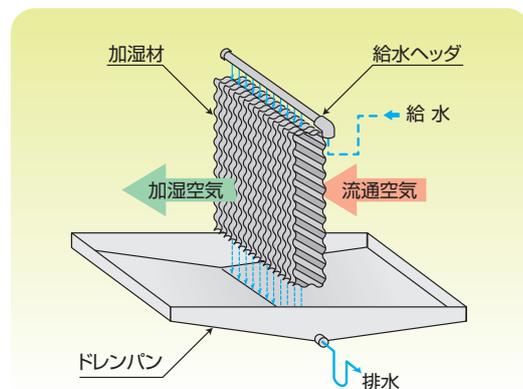
熱源不要の省エネ加湿

気化式加湿器は加湿のための特別な熱源を必要とせず、室内空気の熱を水の気化蒸発に利用するため、冷房を必要とする室内では省エネルギーにつながります。直接加湿ですので、空調機の冷暖運転や風量変動に左右されずに確実な加湿が得られます。

空調方式を問わない室内直接加湿

室内に単独で設置し、室内に直接加湿するタイプですので、空調方式を問わずご使用いただけます。

また、室内の加湿負荷に応じた適切な台数選定が行え、新設や増設も容易です。



- 標準仕様で「水道管直接連結」に対応。第三者機関認証登録品ですので、直結給水方式での加湿器検討をさらに簡便化しました。
- 外部指令信号入力により加湿器の遠方発停が可能になりました。また、外部指令信号入力またはリモコンスイッチ操作による運転・停止の後押し優先機能を搭載しました。
- リモコンスイッチの配線は従来の8心から2心へ改善。また複数台同時制御の際のヒューミディスタット渡り線は不要です。
- 従来オプションであった外部信号出力機能を標準装備いたしました。
- 滞水のないドレンパン構造と、新搭載の定時乾燥機能により衛生的にご使用いただけます。定時乾燥機能は、運転状況により自動的に加湿モジュールの強制乾燥を行うもので、24時間運転の場合、約24時間サイクルで加湿モジュールの強制乾燥を行います。
- 運転音は標準モードの他、静音モードを装備。静音モードでは、VTD6400 : 41dB(A)、VTD3200 : 39dB(A)の静音運転が可能です。工場などの産業空調はもとより、集客施設や福祉施設、学校施設などの一般空調にもご採用いただけます。
- 吹出口は、従来の「横ルーバー」のみから「縦・横ルーバー」に変更。設置場所に応じた、細かな風向調整が可能になりました。
- 水処理は不要。水道水でご使用いただけます。
- ドレンパン高水位検知により自動的に運転を停止します。

ヒューミディスタット内蔵型の リモコンスイッチを新たにラインナップ

ヒューミディスタット内蔵型『ヒューミ付リモコン WM-HRM101』を使うと…
ヒューミディスタットの別途手配が不要！
現地計装工事も省力化し、利便性をさらに向上させます。

従来、加湿器とは別に手配が必要であったヒューミディスタットがリモコンスイッチに内蔵されたことで、ユーザーによる別途手配や現地計装工事の必要がなくなり、手間を軽減、現地計装工事も省力化されます。



ヒューミ付リモコン WM-HRM101

ヒューミ付リモコン仕様 (オプション品)

機種・型式・型番	ヒューミ付リモコン WM-HRM101
本体周囲温湿度	5～40℃ (凍結しないこと) 30～90%RH以下 (結露しないこと) *当リモコンスイッチは室内専用です。室内に設置する場合においても、湯気、水しぶき、油などのかからない場所へ設置してください。
湿度設定範囲	35～70%RH *出荷時のヒューミディスタット設定湿度は40%RHです。設定湿度はリモコンスイッチ操作により5%単位で変更が可能です。設定変更操作については、加湿器本体付属の施工要領書または取扱説明書をご参照ください。
湿度設定ヒステリシス	- 5%RH
リモコンスイッチケース色	ホワイト (近似色 マンセル 5Y9/0.5)
リモコンスイッチ初期設定	加湿器本体とリモコンスイッチの接続時にアドレスの設定が必要となります。 *リモコンスイッチのオートアドレス機能により当該リモコンに接続されている本体接続台数を認識、設定します。(リモコンスイッチ操作と表示灯の点滅回数で接続台数が確認できます)。
梱包内容	1) リモコンスイッチ 1個 2) 初期設定操作説明書 1部

リモコンスイッチ各部機能

■標準リモコンスイッチ

電源表示灯
点灯時：緑

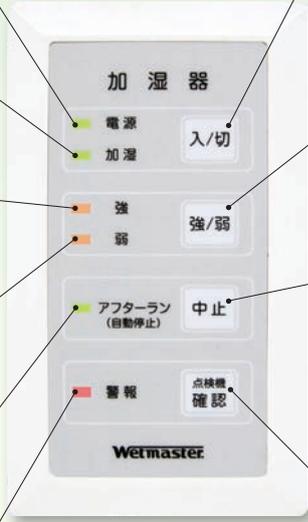
加湿表示灯
点灯時：緑

強表示灯
点灯時：橙

弱表示灯
点灯時：橙

アフターラン表示灯
点灯時：緑

警報表示灯
点灯時：赤



運転ボタン

加湿器を運転させるための押ボタンです。
リモコンスイッチまたは外部指令信号入力「入」で電源表示灯が点灯し、「切」で消灯します。また、加湿運転中(加湿信号ON時)は加湿表示灯も同時に点灯します。

強/弱切替ボタン

ファンの強弱を切替えるための押ボタンです。
強の場合は強表示灯が点灯し、弱の場合は弱表示灯が点灯します。

アフターラン中止ボタン

アフターラン*を強制的に中止したい場合に使用する押ボタンです。
アフターラン表示灯の点灯時に、ボタンを押すとアフターラン表示灯が消灯します。
※アフターランとは、給水動作を行わずファンによる送風乾燥のみを行う動作です。

点検機確認ボタン

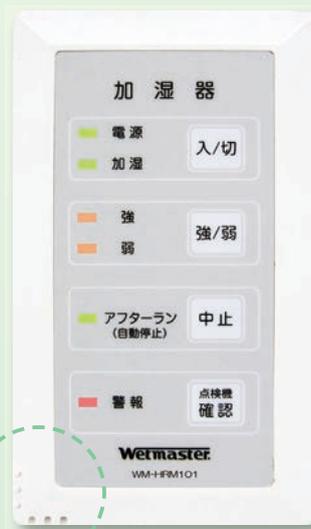
警報表示灯が点灯した際に、警報を発報する本機を確認するための押ボタンです。ボタンを押すと、警報を発報する本機から「ピピッ」とお知らせ音が鳴ります。

■ヒューミ付リモコン



サイドスイッチ

内蔵ヒューミディスタットの各種設定用。
ペン先などで、ピンホール内スイッチを押し
て設定します。



湿度検出部

出荷時のヒューミディスタット設定湿度は
40% RH です。35～70% RH の範囲で
5%単位で設定変更が可能です。

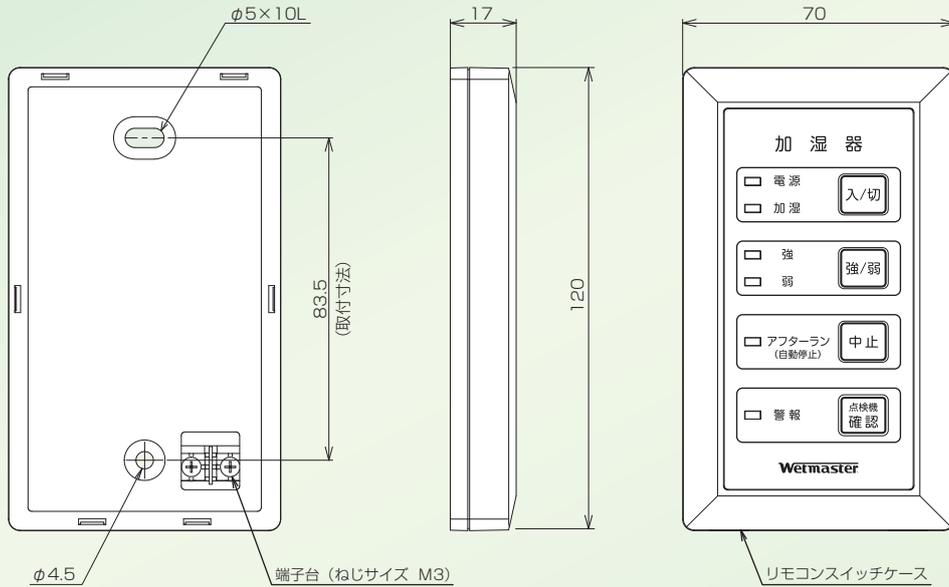
表示灯・操作部は、標準リモコンとヒューミ付リモコン共通です。

◇各表示灯は説明のために点灯状態としています。また、実際の色とは異なる場合があります。

リモコンスイッチ外形図

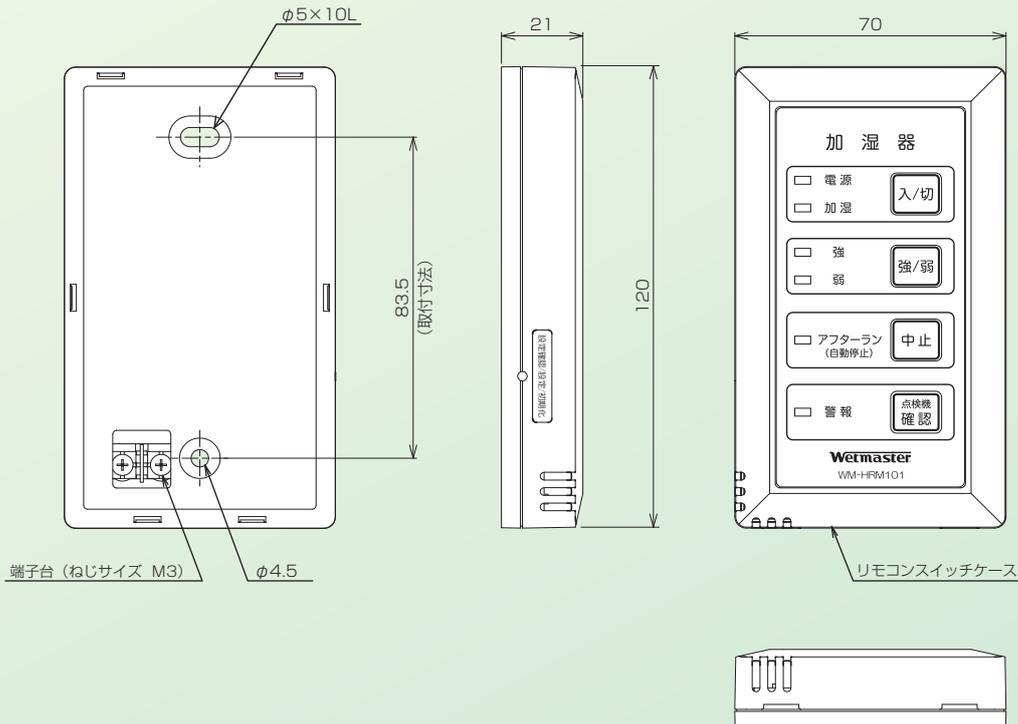
■標準リモコンスイッチ

※取付寸法は、JIS C 8340に適合しています。



■ヒューミ付リモコン

※取付寸法は、JIS C 8340に適合しています。



仕様

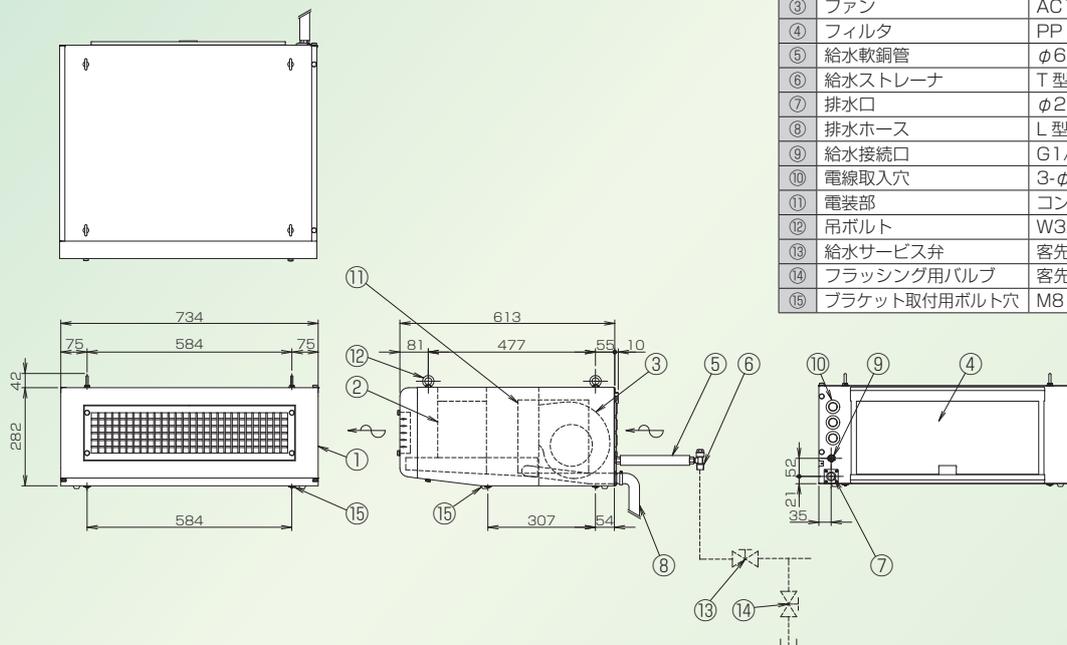
※表内□/□の数字は、50/60Hzの値を示します。

機種・型式	天吊型、滴下浸透気化式加湿器 VTD				
型番	WM-VTD3200		WM-VTD6400		
運転モード ^{*1}	標準モード	静音モード	標準モード	静音モード	
標準加湿能力	ファン強	3.2/3.2kg/h	2.9/2.8kg/h	6.4/6.4kg/h	5.6/5.3kg/h
	ファン弱	2.9/2.8kg/h	2.2/2.0kg/h	5.6/5.3kg/h	4.1/3.7kg/h
*上記は、ファン強：吸込空気条件 25℃・30%RH、ファン強時 ファン弱：吸込空気条件 25℃・30%RH、ファン弱時の値です。 標準加湿能力は吸込空気条件により変化しますので、吸込空気条件が異なる場合は巻末の加湿能力線図でご確認ください。					
定格風量	ファン強	800/800m ³ /h	670/630m ³ /h	1,600/1,600m ³ /h	1,350/1,260m ³ /h
	ファン弱	670/630m ³ /h	480/440m ³ /h	1,350/1,260m ³ /h	970/880m ³ /h
運転音	ファン強	43/44dB(A)	39/37dB(A)	45/46dB(A)	41/39dB(A)
	ファン弱	39/37dB(A)	31/28dB(A)	41/39dB(A)	33/30dB(A)
風量切替	リモコンスイッチ強・弱 二段切替 (二位置式ヒューミディスタット取付可)				
定格電源	AC100V 50/60Hz				
定格消費電力	ファン強	105/125W	75/85W	200/245W	140/165W
	ファン弱	75/85W	50/50W	140/165W	90/95W
運転時質量	37kg		60kg		
本体塗装色	ホワイト (近似色 マンセル N9)				
リモコンスイッチケース色	ホワイト (近似色 マンセル 5Y9/0.5)				
電圧許容範囲	±10%以内				
使用条件	本体周囲温湿度	5～40℃ (凍結しないこと)、80%RH以下			
	吸込空気温度	5～40℃			
	給水水质	水道法水质基準に準ずる飲料水 ^{*2}			
	給水圧力、温度	0.05～0.5MPa、5～30℃			
給水方式	間欠給水方式 (TSS 制御 / 給水量 VTD3200=0.124ℓ/min ± 20%、VTD6400=0.259ℓ/min ± 20%) ※運転開始後は加湿モジュールの湿潤・洗い流しのためにファンを停止した状態で 10 分間連続給水を行い、その後間欠給水となりファンを運転させ加湿を行います。				
安全保護機能	ドレンパン高水位検知 (運転停止 / 警報表示灯点灯)				
保健衛生対策	1) アフターラン機能 (加湿モジュール乾燥のための送風運転。約 2 時間で自動停止) ※加湿運転停止時に、衛生的な空調を行うために加湿モジュールの乾燥を行います。 ※アフターラン中はリモコンスイッチのアフターラン表示灯が点灯します。 2) 定時乾燥機能 (運転状況により自動的に加湿モジュールの強制乾燥を行います) ※24 時間運転の場合、約 24 時間サイクルで加湿モジュールの強制乾燥を行い、臭気などの発生を予防します。 この場合は、アフターラン表示灯は点灯しません。				
運転 / 停止	ヒューミディスタットをご使用の場合は加湿信号により自動発停します。 任意の発停は「リモコンスイッチ操作による発停」と「外部指令信号入力による遠方発停 (外部指令制御の場合)」により行われ「後押し優先」となります。 ※外部指令信号入力は「常時入力信号」と「瞬時入力信号」に対応しています。 信号の種類に応じて加湿器本体コントロールユニットのディップスイッチ切替が必要です (出荷時設定は常時入力信号)。				
外部信号出力	1) 運転信号出力：無電圧接点出力 (a 接点、125V 3A 抵抗負荷)、 電源表示灯または加湿表示灯と連動 (出荷時設定は電源表示灯連動) 2) 警報信号出力：無電圧接点出力 (a 接点、125V 3A 抵抗負荷)、自己保持				
リモコンスイッチ初期設定	加湿器本体とリモコンスイッチの接続時にアドレスの設定が必要となります。 ※リモコンスイッチのオートアドレス機能により当該リモコンに接続されている本体接続台数を認識、設定します。 (リモコンスイッチの操作と表示灯の点灯回数で接続台数が確認できます)				
オプション	壁面用取付ブラケット、ヒューミ付リモコン				
梱包内容	【加湿器本体梱包】 ①加湿器本体 1台 ②給水軟銅管 (0.4m、リングジョイント式、断熱材被覆付) 1本 ③給水ストレーナ (T型、#100、R1/2) 1個 ④排水ホース (L型、内径φ25、ホースバンド 2 個付) 1本 ⑤施工要領書 / 取扱説明書 一式 【リモコンスイッチ梱包】 ①リモコンスイッチ (初期設定操作説明書同梱) 一式				
* 加湿器本体、リモコンスイッチはそれぞれ別梱包です。					

※ 1：製品出荷時には標準モード運転にセットしてあります。静音モード運転を行う場合は、本体内電装部のコネクタの差し替えが必要です。
 ※ 2：加湿器に使用する供給水は、必ず水道法に定められた水道法水质基準に適合した飲料水をご使用ください (上水道の使用を推奨します)。飲料水の水質基準を満足した水でも、地下水・井戸水・地下水を利用した専用水道・工業用水を利用した水の使用では、その含有成分の影響で早期のスケール発生やスケール飛散が生じる場合がありますのでご注意ください。また、軟水器処理水および軟水器処理水と地下水・井戸水・地下水を利用した専用水道・工業用水との混合水は使用しないでください。軟質のスケールが析出し、飛散することがあります。

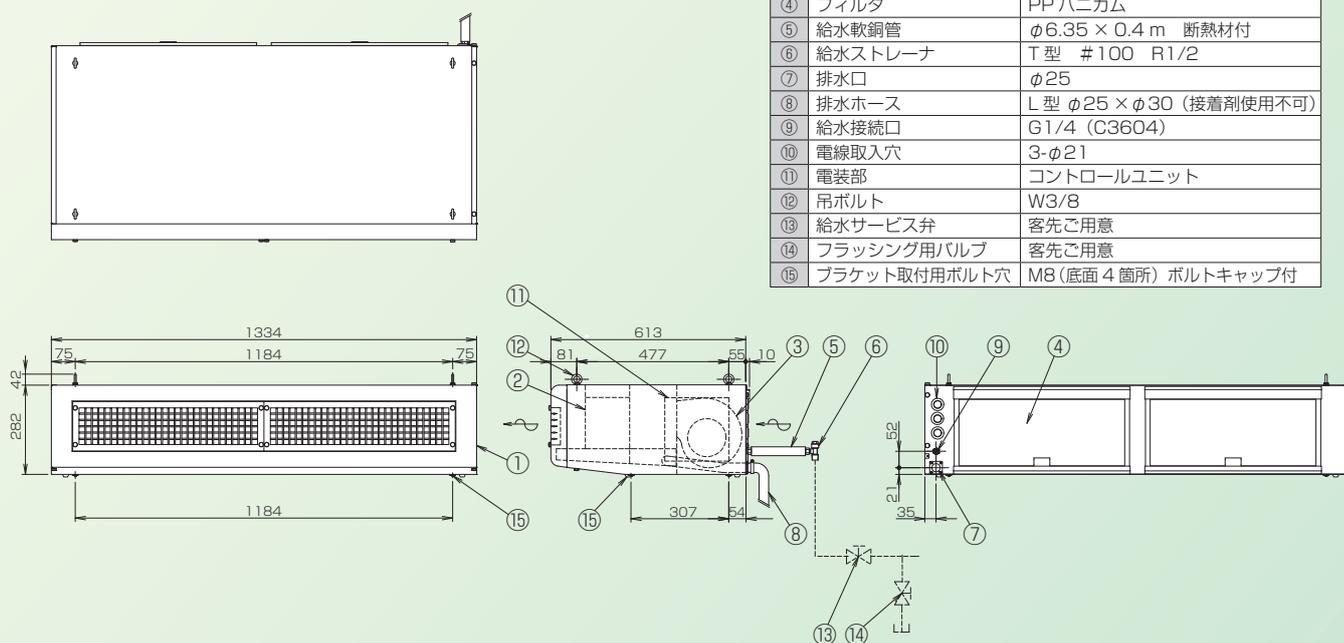
加湿器本体外形図

■ WM-VTD3200



No	部品名称	仕様
①	加湿器本体	塗装 (近似色 マンセル N9)
②	加湿モジュール	HS ファイバー
③	ファン	AC100V
④	フィルタ	PP ハニカム
⑤	給水軟銅管	φ6.35 × 0.4 m 断熱材付
⑥	給水ストレーナ	T型 #100 R1/2
⑦	排水口	φ25
⑧	排水ホース	L型 φ25 × φ30 (接着剤使用不可)
⑨	給水接続口	G1/4 (C3604)
⑩	電線取入穴	3-φ21
⑪	電装部	コントロールユニット
⑫	吊ボルト	W3/8
⑬	給水サービス弁	客先ご用意
⑭	フラッシング用バルブ	客先ご用意
⑮	ブラケット取付用ボルト穴	M8 (底面 4箇所) ボルトキャップ付

■ WM-VTD6400



No	部品名称	仕様
①	加湿器本体	塗装 (近似色 マンセル N9)
②	加湿モジュール	HS ファイバー
③	ファン	AC100V
④	フィルタ	PP ハニカム
⑤	給水軟銅管	φ6.35 × 0.4 m 断熱材付
⑥	給水ストレーナ	T型 #100 R1/2
⑦	排水口	φ25
⑧	排水ホース	L型 φ25 × φ30 (接着剤使用不可)
⑨	給水接続口	G1/4 (C3604)
⑩	電線取入穴	3-φ21
⑪	電装部	コントロールユニット
⑫	吊ボルト	W3/8
⑬	給水サービス弁	客先ご用意
⑭	フラッシング用バルブ	客先ご用意
⑮	ブラケット取付用ボルト穴	M8 (底面 4箇所) ボルトキャップ付

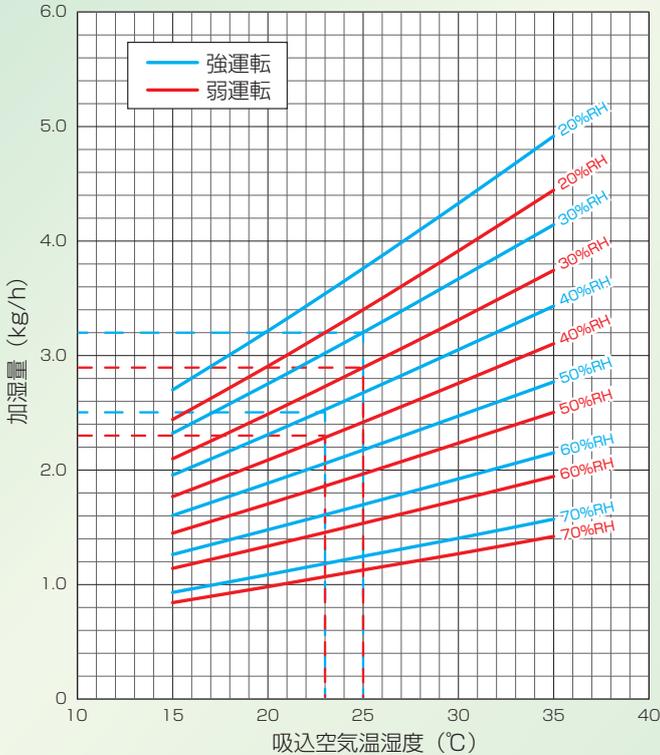
50Hz

WM-VTD3200 加湿能力線図【50Hz】

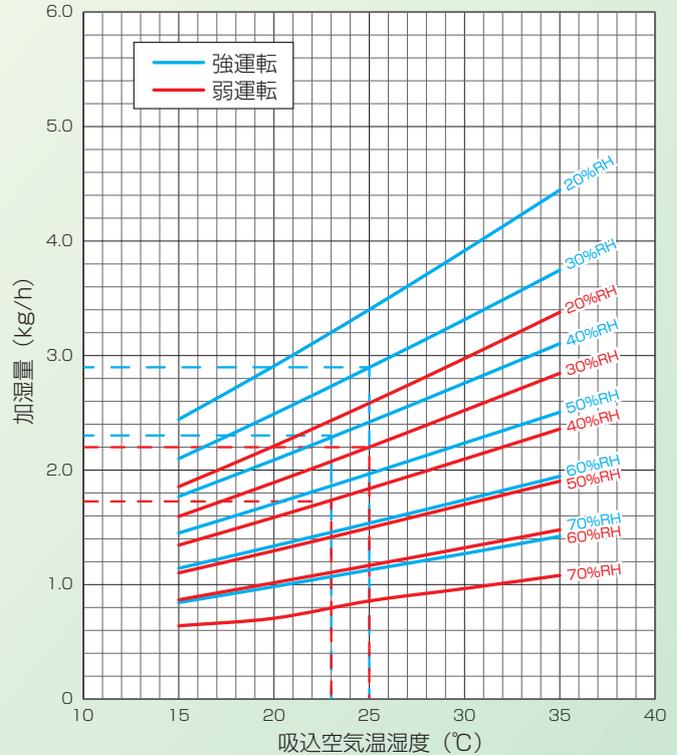
- 加湿器吸入空気の温湿度に対する加湿能力を表します。
- 室内空気の設計温湿度から1台あたりの加湿能力を読み取り、必要加湿量に応じた台数を選定してください。
なお、天井付近の空気温度は一般に呼吸線より1～3℃高くなりますのでこれを考慮して選定してください。
- 加湿量が4.0kg/h以上となる天井付近の空気温湿度条件で運転する場合は、ディップスイッチによる給水量の設定変更が必要です（施工要領書／取扱説明書を参照）。

加湿能力線図読み取り例（標準モード、強運転時）
 吸入空気条件 25℃・30%RH時の加湿能力 3.2kg/h（標準加湿能力）
 吸入空気条件 23℃・40%RH時の加湿能力 2.5kg/h

【標準モード】



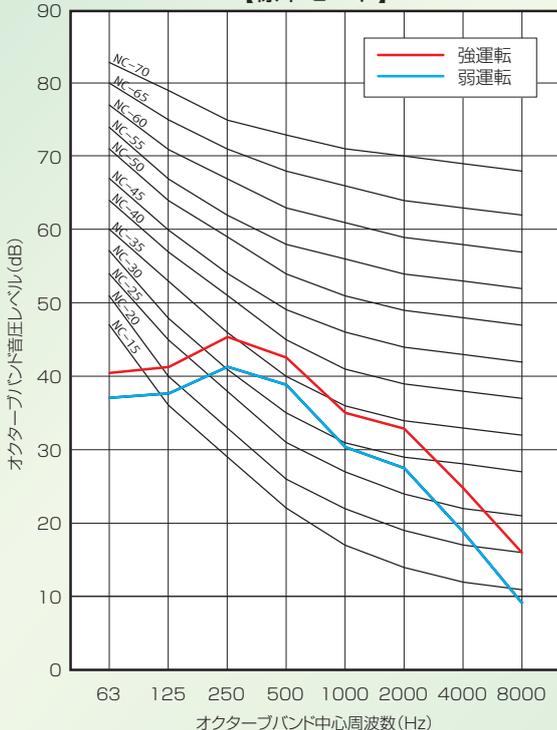
【静音モード】



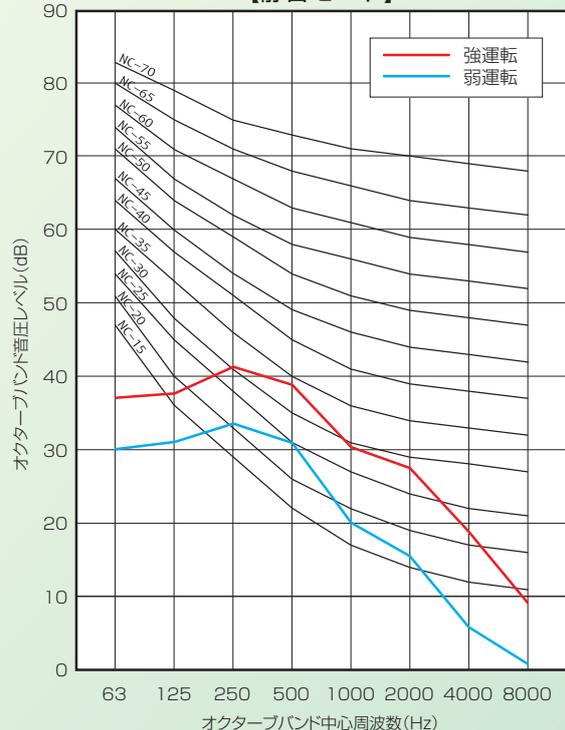
WM-VTD3200 NC 特性線図【50Hz】

- 東京都立産業技術研究センター、無響室にて測定。（室温：24℃、湿度：58%RH、成績証明書 27 依研光 第 847 号 / 848 号）
- 吹出口表面中心下部より 1.0m・下 1.0m の距離で測定。測定時の暗騒音：7dB 以下。
- このデータは無響室で測定したもので、部屋の状態によっては反響などにより若干高くなることがあります。
- 「標準モード・弱」は、「静音モード・強」と同じ値です。

【標準モード】



【静音モード】



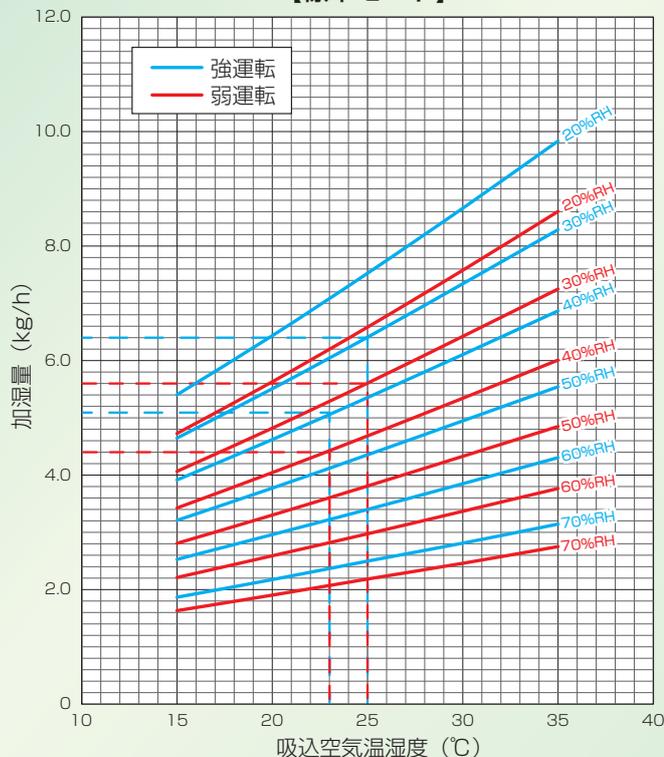
50Hz

WM-VTD6400 加湿能力線図【50Hz】

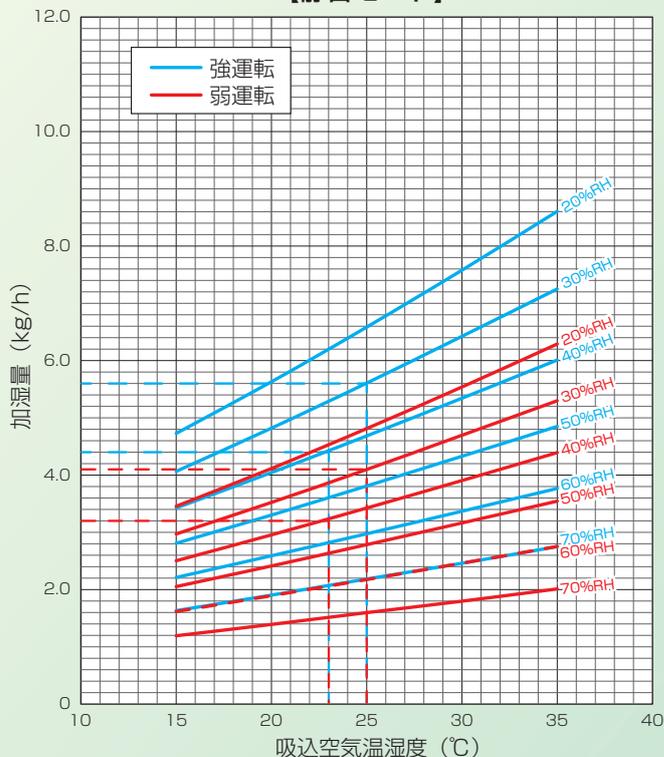
- 加湿器吸込空気の状態に対する加湿能力を表します。
- 室内空気の設計湿度から1台あたりの加湿能力を読み取り、必要加湿量に応じた台数を決定してください。
なお、天井付近の空気湿度は一般に呼吸線より1～3℃高くなりますのでこれを考慮して決定してください。
- 加湿量が8.0kg/h以上となる天井付近の空気湿度条件で運転する場合は、ディップスイッチによる給水量の設定変更が必要で（施工要領書／取扱説明書を参照）。

加湿能力線図読み取り例（標準モード、強運転時）
 吸込空気条件 25℃・30%RH時の加湿能力 6.4kg/h（標準加湿能力）
 吸込空気条件 23℃・40%RH時の加湿能力 5.1kg/h

【標準モード】



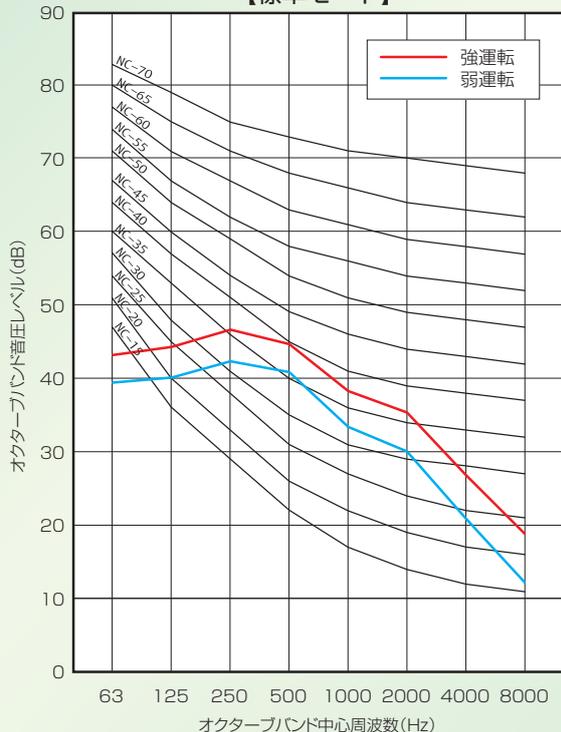
【静音モード】



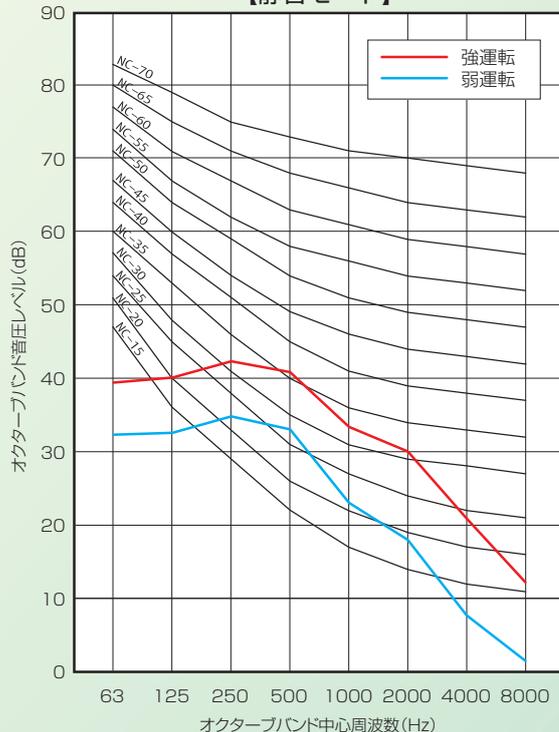
WM-VTD6400 NC 特性線図【50Hz】

- 東京都立産業技術研究センター、無響室にて測定。（室温：24℃、湿度：58%RH、成績証明書 27 依研 第 847 号 /848 号）
- 吸出口表面中心下部より前 1.0m・下 1.0m の距離で測定。測定時の暗騒音：7dB 以下。
- このデータは無響室で測定したもので、部屋の状態によっては反響などにより若干高くなる場合があります。
- 「標準モード・弱」は、「静音モード・強」と同じ値です。

【標準モード】



【静音モード】



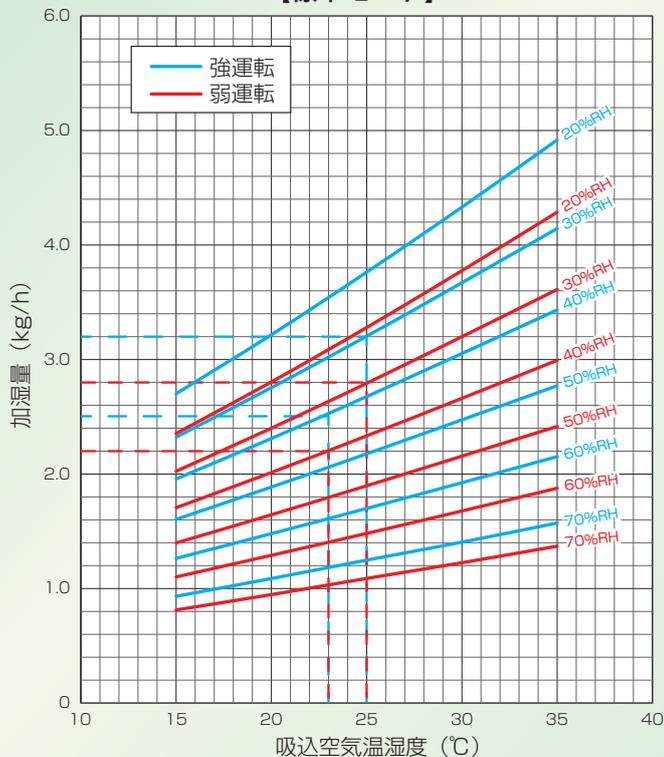
60Hz

WM-VTD3200 加湿能力線図【60Hz】

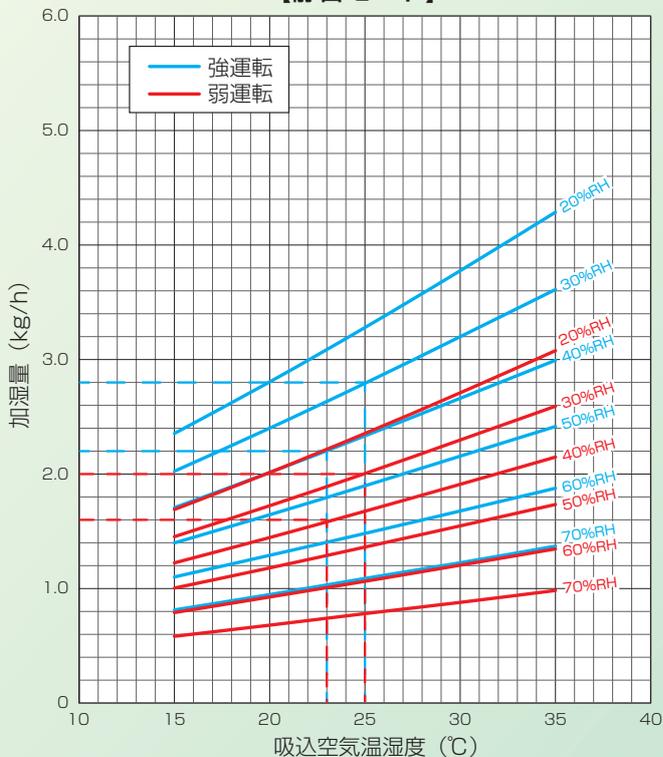
- 加湿器吸入空気温度に対する加湿能力を表します。
- 室内空気的设计温度から1台あたりの加湿能力を読み取り、必要加湿量に応じた台数を選定してください。
なお、天井付近の空気温度は一般に呼吸線より1～3℃高くなりますのでこれを考慮して選定してください。
- 加湿量が4.0kg/h以上となる天井付近の空気温湿度条件で運転する場合は、ディップスイッチによる給水量の設定変更が必要です（施工要領書／取扱説明書を参照）。

加湿能力線図読み取り例（標準モード、強運転時）
 吸入空気条件 25℃・30%RH時の加湿能力 3.2kg/h（標準加湿能力）
 吸入空気条件 23℃・40%RH時の加湿能力 2.5kg/h

【標準モード】



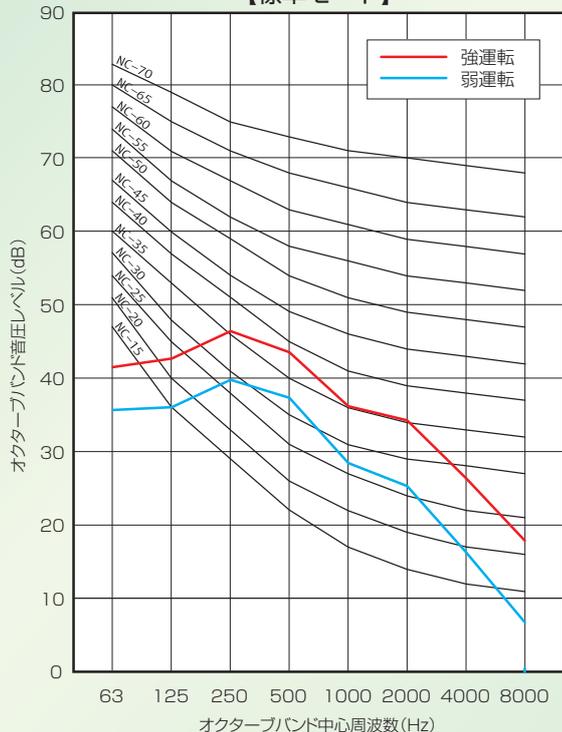
【静音モード】



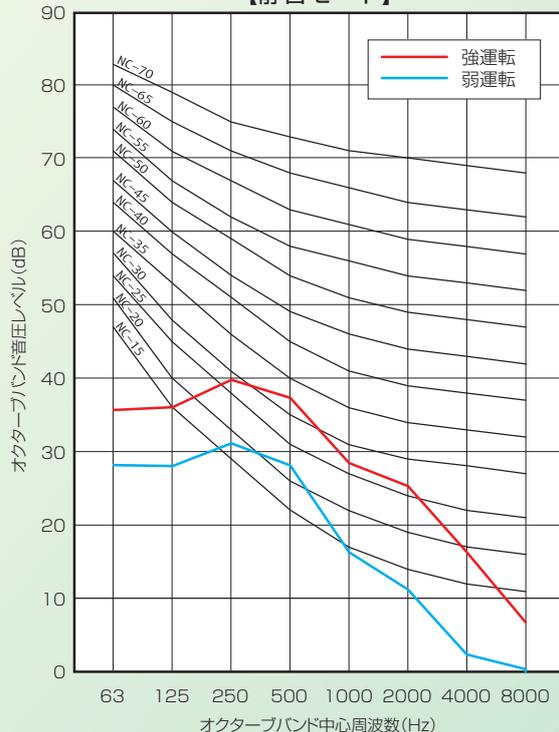
WM-VTD3200 NC 特性線図【60Hz】

- 東京都立産業技術研究センター、無響室にて測定。（室温：24℃、湿度：58%RH、成績証明書 27 依研光 第 847 号 / 848 号）
- 吹出口表面中心下部より 1.0m・下 1.0m の距離で測定。測定時の暗騒音：7dB 以下。
- このデータは無響室で測定したもので、部屋の状態によっては反響などにより若干高くなることがあります。
- 「標準モード・弱」は、「静音モード・強」と同じ値です。

【標準モード】



【静音モード】



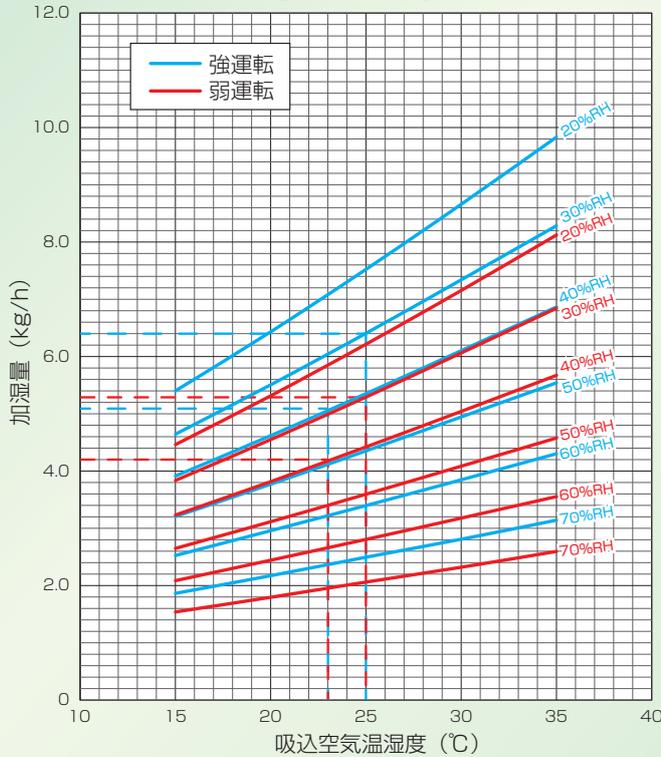
60Hz

WM-VTD6400 加湿能力線図【60Hz】

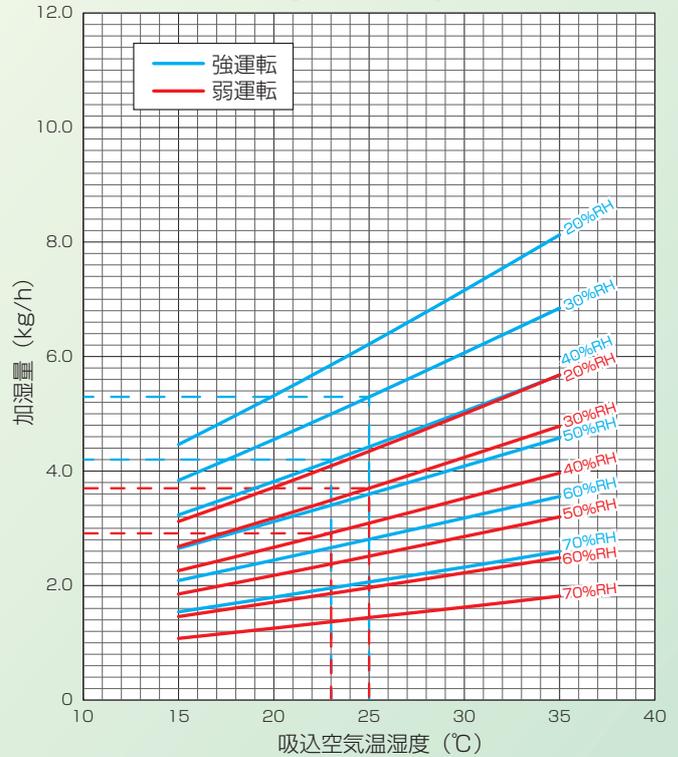
- 加湿器吸込空気の温湿度に対する加湿能力を表します。
- 室内空気の設計温湿度から1台あたりの加湿能力を読み取り、必要加湿量に応じた台数を選定してください。
なお、天井付近の空気温度は一般に呼吸線より1～3℃高くなりますのでこれを考慮して選定してください。
- 加湿量が8.0kg/h以上となる天井付近の空気温湿度条件で運転する場合は、ディップスイッチによる給水量の設定変更が必要です（施工要領書／取扱説明書を参照）。

加湿能力線図読み取り例（標準モード、強運転時）
 吸込空気条件 25℃・30%RH時の加湿能力 6.4kg/h（標準加湿能力）
 吸込空気条件 23℃・40%RH時の加湿能力 5.1kg/h

【標準モード】



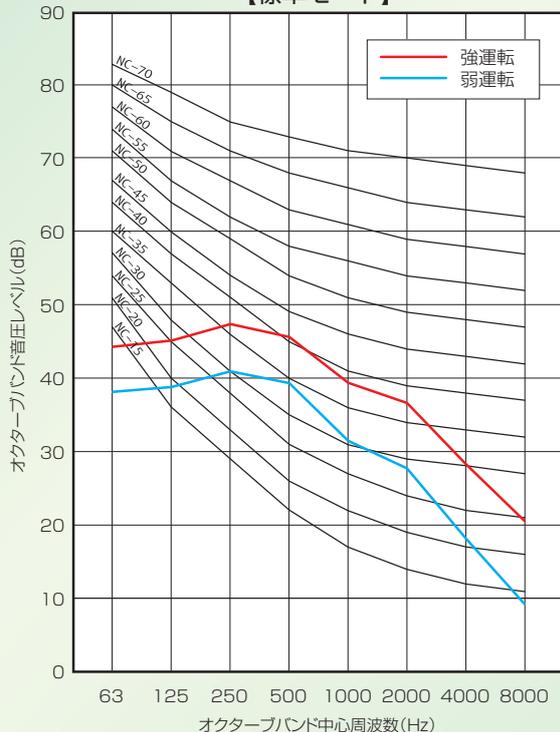
【静音モード】



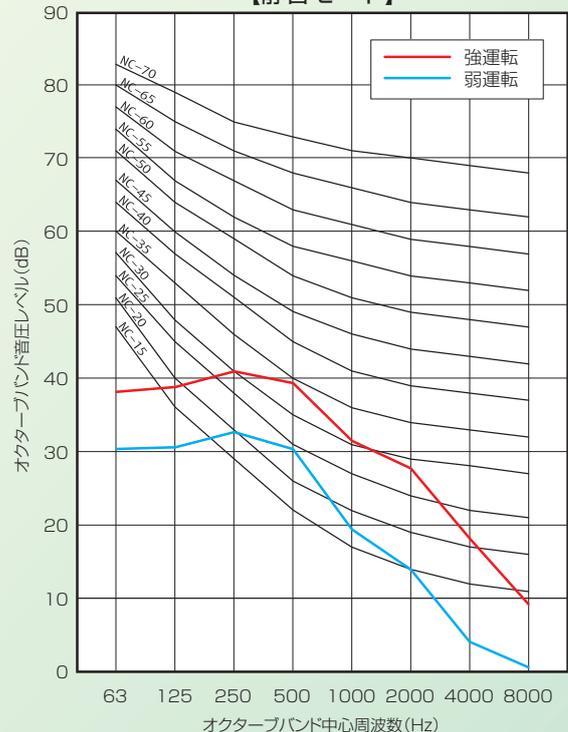
WM-VTD6400 NC 特性線図【60Hz】

- 東京都立産業技術研究センター、無響室にて測定。（室温：24℃、湿度：58%RH、成績証明書 27 依研光 第 847 号 /848 号）
- 吹出口表面中心下部より前 1.0m・下 1.0m の距離で測定。測定時の暗騒音：7dB 以下。
- このデータは無響室で測定したもので、部屋の状態によっては反響などにより若干高くなることがあります。
- 「標準モード・弱」は、「静音モード・強」と同じ値です。

【標準モード】

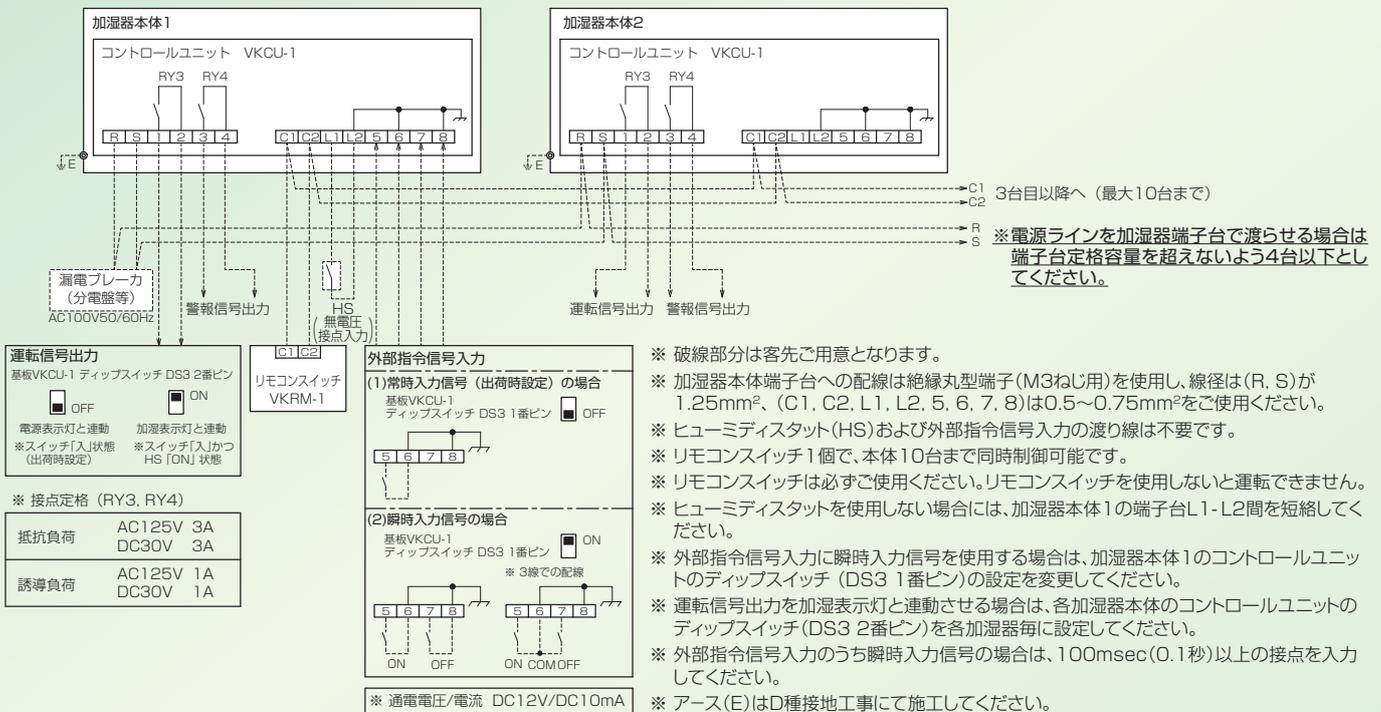


【静音モード】

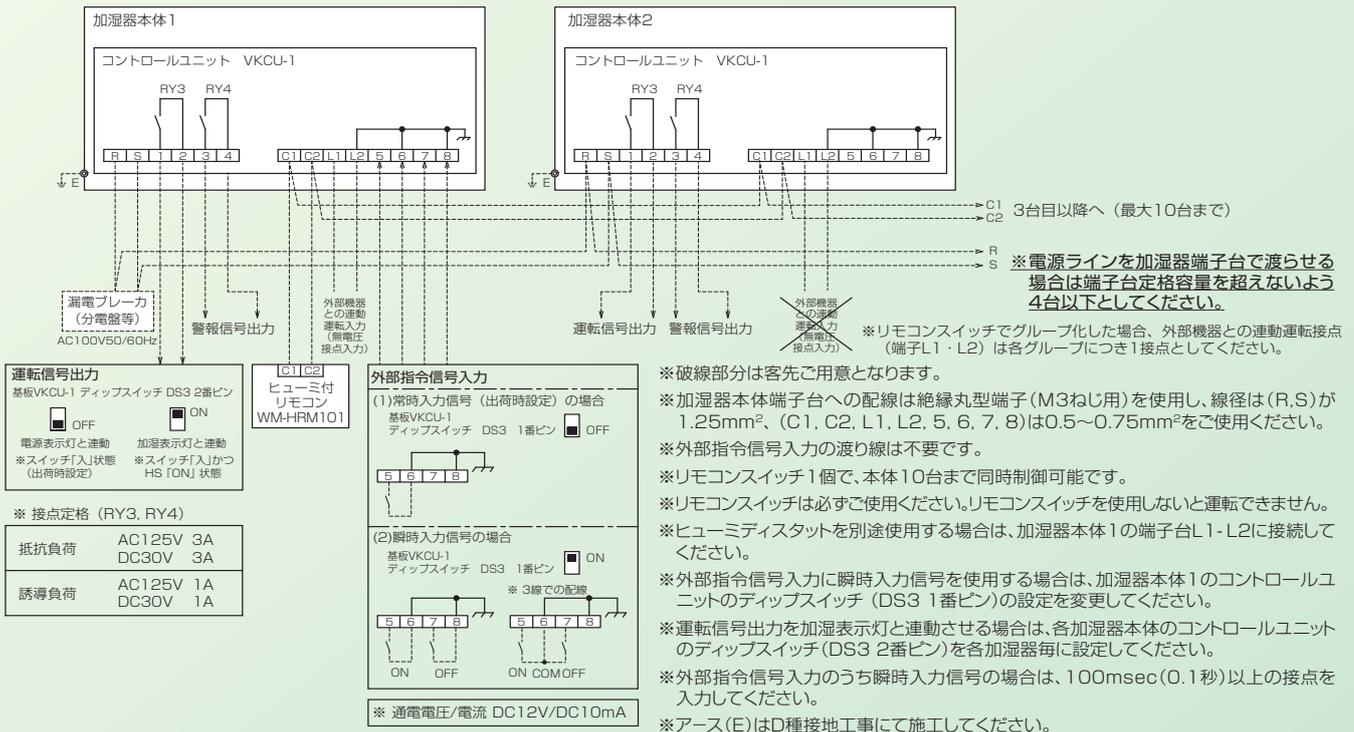


結線要領図

■ VTD3200/6400・標準リモコン



■ VTD3200/6400・ヒューミ付リモコン



複数グループを外部指令信号入力(遠方発停)で一括制御する場合の結線例

共通事項

- 必ず1グループに1つリモコンスイッチが必要です。リモコンスイッチ無しでの運転はできません。
- 外部指令信号入力は常時入力(2心×1本)または瞬時入力(3心×1本)、無電圧接点入力となり、各グループにおける加湿器本体①のみの結線となります。
- 加湿器本体コントロールユニットのディップスイッチで常時入力または瞬時入力を選択してください。なお、出荷時は常時入力の設定となっています。
- 外部指令信号線の配線径と総配線長から、接続可能な最大グループ数が変わります。下記表を参照してください。

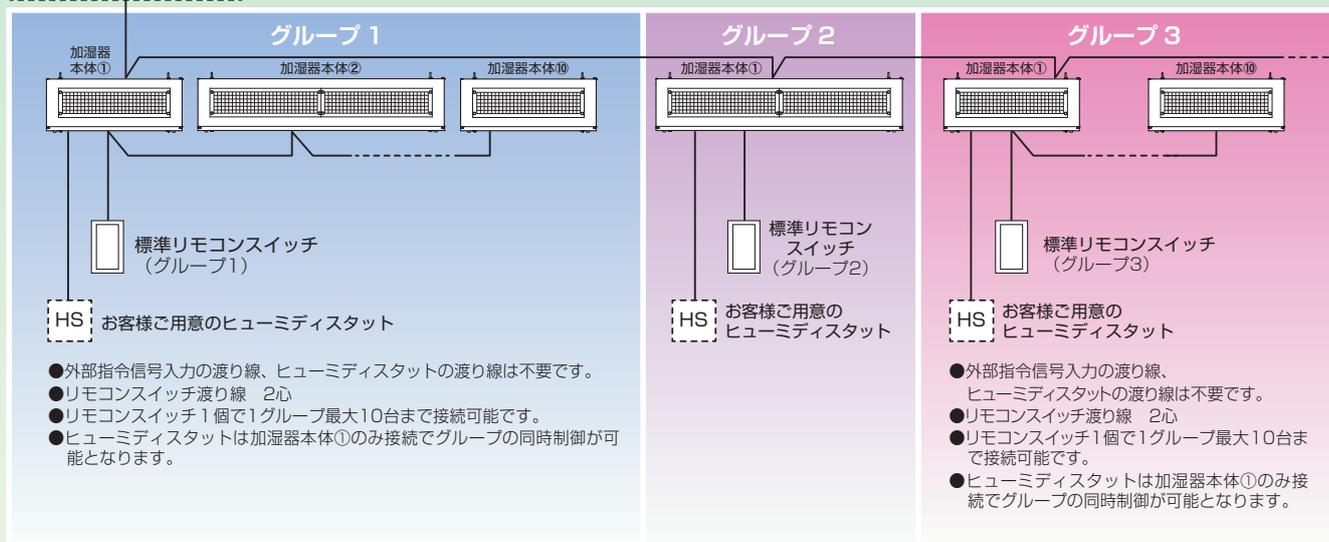
一括制御できるグループ数

接続グループ数	外部指令信号入力の接点容量
～50グループ	1A以上
51グループ～100グループ	1.5A以上
101グループ～200グループ	3A以上

外部指令信号線	総配線長	1,000m	1,500m	2,000m
	配線径	0.75mm ²	140グループ	90グループ
	1.25mm ²	200グループ	160グループ	115グループ

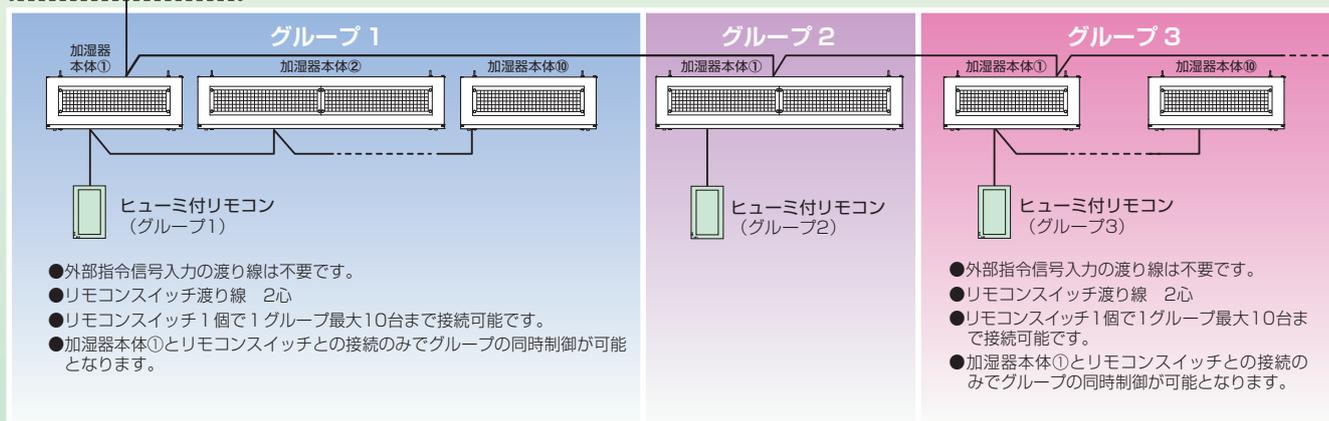
■ VTD3200/VTD6400・標準リモコン、客先ご用意ヒューミディスタットによる結線例

外部指令信号入力
(常時接点または瞬時接点)



■ VTD3200/VTD6400・ヒューミ付リモコンによる結線例

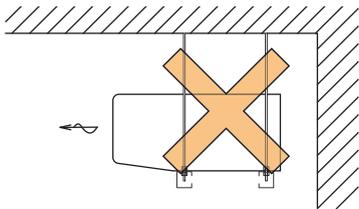
外部指令信号入力
(常時接点または瞬時接点)



ご採用にあたって

本体取付

- 加湿器本体は水準器を使用し水平に取り付けてください。正しく施工されないとフロートスイッチの誤作動による水漏れの原因になります。やむを得ず水平に取り付けられない場合は、吹出口を正面に見て右側のサイドパネル側に1°以内、排水口側に1°以内の傾きに収めてください。
- 施工時、水平を取る際は加湿器の上部に水準器を当ててください。
- ヒューミ付リモコンをご使用の場合、リモコンスイッチのサイドスイッチ操作と湿度感知に影響するため、壁面へ取り付ける際は左側面から50mmの空間を空けてください。
- P.14に記載された加湿器本体周囲スペースを確保してください。また後々の保守点検が容易に行えるようサービススペースにご配慮ください。
- 吹出空気は高湿です。吹出方向は障害物を避け、結露による障害が発生しないようご配慮ください(P.14、本体周囲スペース参照)。
- オプション部品として「壁面用取付ブラケット」を用意しております(P.14参照)。
- アングルなどを使用して、吊ボルトで取り付けることはできません。加湿モジュールを取り出せなくなり、後々の保守点検が出来なくなります。



- 本製品の下に濡れて困るものを置かないでください。
- メンテナンスのために、加湿器直下には移動できないものを置かないでください。

給水水質について

- 加湿器に使用する供給水は、必ず水道法に定められた水道法水質基準に適合した飲料水をご使用ください(上水道の使用を推奨します)。飲料水の水質基準を満足した水でも地下水・井戸水・地下水を利用した専用水道・工業用水を利用した水の使用では、その含有成分の影響で早期のスケール発生やスケール飛散が生じる場合がありますのでご注意ください。
- また、軟水器処理水および軟水器処理水と地下水・井戸水・地下水を利用した専用水道・工業用水との混合水は使用しないでください。軟質のスケールが析出し、飛散することがあります。

給排水配管

- 本製品は給水装置の性能基準適合品(第三者認証登録品、(一財)電気安全環境研究所)で、水道管への直接連結が可能です。水道管に直接連結する場合、給水配管工事は所轄水道局(水道事業者)指定の給水装置工事事業者の方が施工してください。
- 給水配管には加湿器本体のなるべく近い位置に、必ず給水サービス弁とフラッシング用バルブを加湿器ごとに設けてください。
- 排水配管は管径20A以上とし、排水主管までは各加湿器ごとに単独で配管してください。
- 給水配管・排水配管ともに、凍結および結露を防止するための保温処理が必要となります。
- 加湿器からは連続的に少量のドレンが出るため、本体の取付位置の選定にあたっては、排水

配管の十分な先下がり勾配(1/100以上)を確保し、大気開放としてください。

電気配線

- 加湿器の電源系統には、加湿器専用の漏電ブレーカを設けてください。
- 電源ラインを加湿器端子台で渡らせる場合は、端子台定格容量を超えないよう4台以下としてください。
- 強電の電源ラインと弱電の信号ラインは分けて配線してください。同一管路内に納めて配線すると、誤動作の原因になります。
- アースはD種接地工事にて必ず施工してください。
- 本機はリモコンスイッチがないと運転できません。付属のリモコンスイッチは必ずご使用ください。
- 付属のリモコンスイッチ1個で加湿器10台まで運転を行うことができます。
- お客様でヒューミディスタットをご用意される場合は、接点容量100V・2A以上のものとしてください。ヒューミディスタット1個で加湿器10台まで運転を行うことができます。
- 1つのリモコンスイッチで複数台制御する場合、ヒューミディスタットを複数個使用して各加湿器を個別に制御することはできません。必ずヒューミディスタットとリモコンスイッチは1対1となるようにしてください。

運転制御

- 加湿器への給水は、減圧弁・電磁弁などの組み合わせにより自動的に行われます。
- ヒューミディスタットの加湿信号により自動発停します。
- 付属のリモコンスイッチにより強運転・弱運転の切替ができます。
- 保健衛生対策としてアフターラン機能を備えています。加湿器運転停止(リモコンスイッチによる運転停止および外部指令信号入力、またヒューミディスタットの加湿信号OFFによる運転停止)後に自動的に約2時間の送風運転を行い、加湿モジュールを乾燥させます。
- 24時間連続運転となるような場合、衛生的な空調を行うために、約24時間サイクルで強制乾燥を行い、臭気などの発生を予防する定時乾燥機能を装備しています。
- ドレンパン高水位検知により加湿器の運転を停止するとともに、リモコンスイッチ上に「警報」として表示します。

保守点検

- 通常の保守は加湿モジュール点検(洗浄)、給水ストレーナ・フィルタ・ドレンパン掃除などです。
- 加湿用給水配管はシーズンオフには通水がないため管内の腐食が発生しやすく、残留水は汚れます。配管残留水の加湿器への流入防止および衛生的にご使用いただくために、シーズンイン時には必ず配管のフラッシングを実施してください。
- 加湿モジュールは、使用によって汚れが堆積するため、加湿能力および加湿による気化冷却効果が徐々に低下します。以下の点にご注意ください。
 - * 汚れの量は、水質や運転環境の様々な要因によって変化しますので定期的に監視し、汚れの質や量に応じた洗浄方法、洗浄サイクルを定めてください。水道法水質基準に準じて

いる場合でも、全硬度、シリカ成分量などが多ければ、それだけ汚れやスケール成分の析出量も多くなる可能性があります。参考として、(一社)日本冷凍空調工業会標準規格では「冷凍空調機器用冷却水水質基準(JRAGL02-1994)」において、冷却水の補給水の水質についてスケールの傾向に影響を与える項目と基準は、pH(25℃):6.8~8.0、導電率(25℃):30mS/m以下、酸消費量(pH4.8):50mgCaCO₃/ℓ以下、全硬度:70mgCaCO₃/ℓ以下、カルシウム硬度:50mgCaCO₃/ℓ以下、イオン状シリカ:30mgSiO₂/ℓ以下とされています。ただし、上記基準を満たした水でも、地下水・井戸水・地下水を利用した専用水道・工業用水を利用した水の使用では、その含有成分の影響で早期のスケール発生やスケール飛散が生じる場合がありますのでご注意ください。また、軟水器処理水および軟水器処理水と地下水・井戸水・地下水を利用した専用水道・工業用水との混合水は使用しないでください。軟質のスケールが析出し、飛散することがあります。

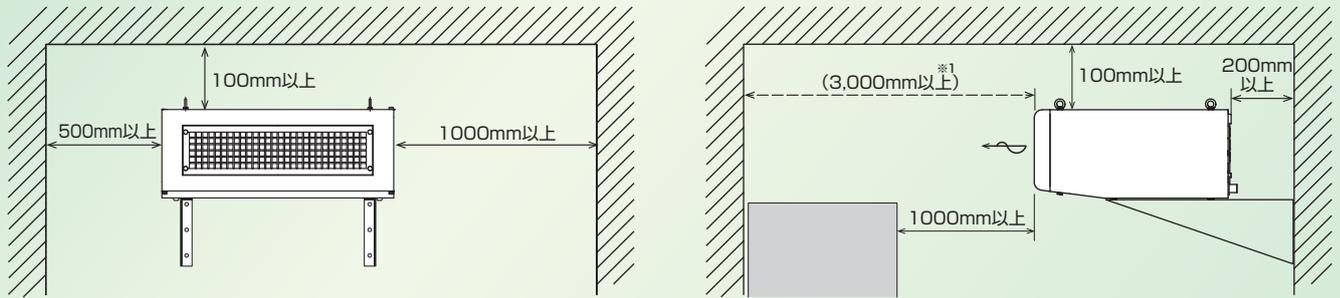
＜加湿モジュールの洗浄方法＞

- ①加湿モジュールにスケールの析出がない場合は、酸素系漂白剤による一般洗浄を行います。
 - ②加湿モジュールにスケールが析出している場合は、専用洗浄剤によるスケール除去を行います。
- 加湿モジュールの交換周期は、加湿器の設置環境や供給水質、洗浄作業の頻度などに左右されますが運転時間5,000時間を目安にしてください。一般空調での暖房期の加湿運転時間を1日10時間とした場合、年間1,250時間となりますので交換周期は4年が目安となります。また、年間空調での加湿運転時間は5,000時間となりますので交換周期は1年が目安となります。
 - 給水ユニットは5年を目安に交換が必要となります。また、給水動作が100万回に達した場合、加湿器の運転を自動停止します(95万回で予報停止)。この場合も給水ユニットの交換が必要です。

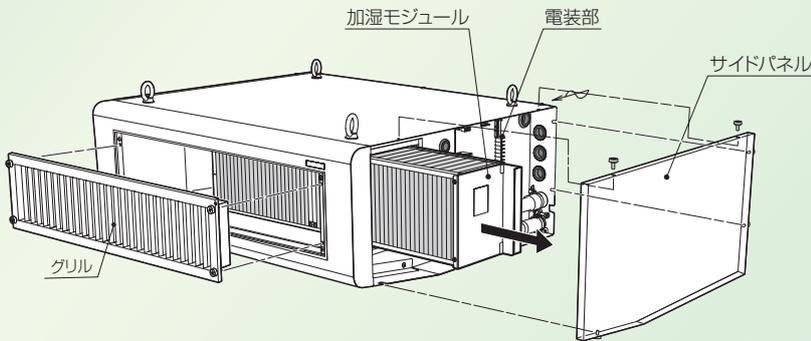
その他

- 空気清浄度を管理されている室内、施設を対象に加湿器をご使用になる場合は、加湿器を組み込んだ空調システムの加湿器二次側に、要求清浄度を満足できる能力を有する最終フィルタを設置してください。室内直接加湿の場合は、当社宛お問い合わせください。
- 加湿器を通過する気流または供給される給水中に撥水性を有する物質が含まれている場合、その成分の影響により加湿モジュールが撥水する場合があります。交換周期が短くなる場合がありますのでご注意ください。
- 現場の空気条件などにより、使用できない場合があります。以下のような場合には弊社宛ご相談ください。
 - * 通気、設置場所に腐食性ガスが予想される場合
 - * 厨房、食品工場その他、通気に塩分やオイルミストを含むおそれがある場合
 - * 機械工場など、通気に金属製の塵埃を含むおそれのある場合
 - * 病院などの特殊空調

加湿器本体周囲スペース



※ 1：加湿器からの吹出空気が窓や壁に直接当たると、周囲温湿度によっては結露する恐れがあります。
前方構造物までの距離は 3,000mm 以上とすることを推奨します。



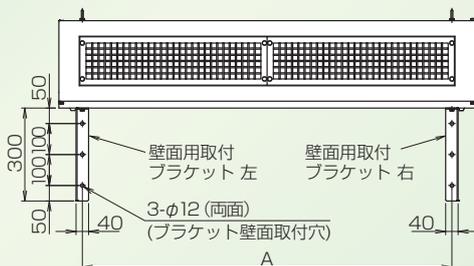
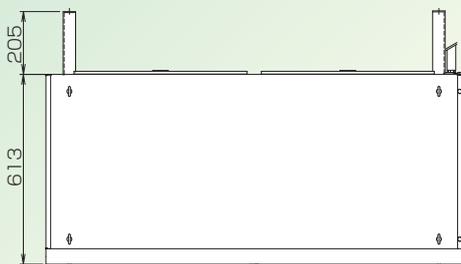
- 本加湿器の点検およびメンテナンスは、高所および脚立上での作業が想定されます。また加湿モジュールの取り外しや、ドレンパンの定期点検および清掃は、加湿器正面から見て右側のサイドパネルと、正面の吹き出しグリルを外して行います。安全な作業が行えるよう、上図に示す本体周囲スペースを確保してください。

■ 壁面用取付ブラケット (オプション品)

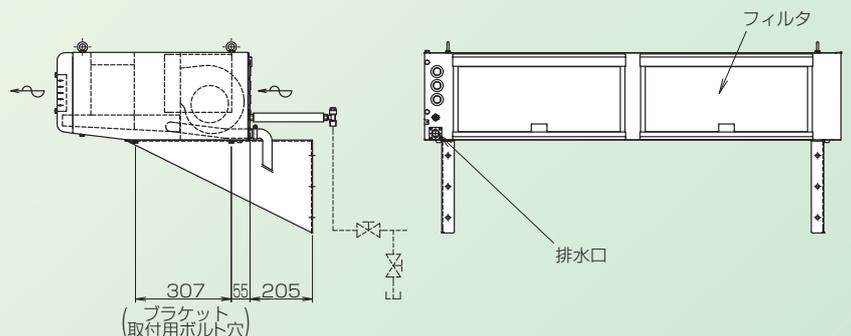
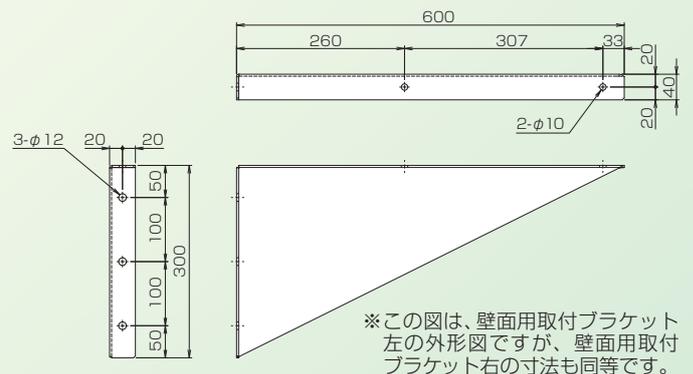
- 加湿器本体を壁面に取り付けるための鋼製ブラケットです。WM-VTD3200、WM-VTD6400 共通でご使用いただけます。

■ 壁面用取付ブラケット付本体外形図

型番	A 寸法
WM-VTD3200	584
WM-VTD6400	1184



■ 壁面用取付ブラケット 外形図



安全に関するご注意

- ご使用前に、「取扱説明書」など製品添付の説明書類をよくお読みの上、正しくご使用ください。
- 本製品は、専門業者の管理のもとにご使用ください。
- 取付工事、電気工事は専門業者に依頼してください。
- 本製品は、定期的な保守点検作業が必要です。保守点検作業は、当社または専門業者にご相談ください。

ウェットマスター株式会社

本社営業本部 〒161-8531 東京都新宿区中落合 3-15-15 WM本社ビル TEL.03-3954-1101

本社保守・サービス営業本部 TEL.03-3954-1110

大阪支店 〒540-0024 大阪市中央区南新町 1-1-2 タイムスビル TEL.06-4790-6606

名古屋営業所 〒464-0858 名古屋市千種区千種 1-15-1 ルミナスセンタービル TEL.052-745-3277

仙台営業所 〒981-3133 仙台市泉区泉中央 3-27-7 TEL.022-772-8121

福岡営業所 〒812-0004 福岡市博多区榎田 2-1-10 TEL.092-471-0371

- 業務用・産業用各種加湿器
 - 流量管理システム機器／エアロQシステム・カラムアイ
- 製品の仕様は改良などのために予告なしに変更することがありますのでご了承ください。



東京本社
ISO14001:2015
認証取得



東京本社
ISO9001:2015
認証取得